

滋賀医科大学雑誌(電子ジャーナル版)投稿規程

(内容)

第1 本誌は、和文又は欧文の原著、総説、症例報告、CPC 等を掲載し、電子ジャーナルとして本学ホームページ上にて公開する。また、本学機関リポジトリに収録し、公開する。

(投稿資格)

第2 投稿者は、滋賀医科大学に所属する研究者、又は編集委員会が認めた者とする。

(論文の受付)

第3 論文原稿は、編集委員会が規定したMicrosoft Wordテンプレートに従って作成し、作成したWordファイルを編集委員会あてにメール添付またはフロッピーディスク、CD、USBメモリなどの媒体に記録して提出する。編集委員長は、受付年月日を記した原稿受領メールを投稿者に返送する。編集委員会のメールアドレスは、j-sums@belle.shiga-med.ac.jp である。

(論文の受理)

第4 原稿は、別に定める「滋賀医科大学雑誌(電子ジャーナル版)投稿手引」に従い、内容、体裁が整ったものでなければならない。投稿原稿の受理は、編集委員会で決定し、投稿者にメールで通知する。

(校正)

第5 原稿の校正は、著者の責任において行う。内容に影響を与える改変は許されない。

(掲載料)

第6 論文の掲載料は不要である。また編集委員会では別刷りを作成しない。別刷りが必要な場合は、投稿者自身で最終掲載データを用いて別刷りを作成すること。

(依頼原稿)

第7 編集委員会が特に必要と認めたときは、本学内外に論文の寄稿を依頼し、本誌に掲載することができる。この場合、掲載料は徴収しない。

滋賀医科大学雑誌（電子ジャーナル版）投稿手引

（目的）

第1 この手引は、「滋賀医科大学雑誌（電子ジャーナル版）投稿規程」の定めるところにより、論文原稿の取扱いについて必要な事項を定めるものである。

（論文）

第2 論文は、原則として日本語、英語、ドイツ語、又はフランス語によるものとし、次の各号に掲げる点に留意して作成したものでなければならない。

1 論文は、編集委員会が規定したMicrosoft Wordテンプレート（投稿原稿体裁例）に従った体裁で作成したものとする。

なお、1 (one) と l (el) , 0 (zero) と O (capital oh) は区別して入力すること。外字や文字飾りなどの機種固有のものは変換できないので、使用しないこと。また、万一特別に必要なときには、原稿上に赤字で指示するものとする。

2 論文原稿は、原則として編集委員会あての電子メールの添付ファイルで提出すること。

電子メールで提出できない事情がある場合には、フロッピーディスク、CD、USBメモリーなどの媒体による提出も認めるが、事前に編集委員会に連絡し、受領可能な記録フォーマットであることを確認して提出すること。記録媒体による提出の際は、万一の媒体の紛失や破損に備えて、各自でバックアップをとり、保存しておくこと。

3 和文の表記は、原則として「常用漢字表」（昭和56年10月1日内閣告示第1号）、「送り仮名の付け方」（昭和48年6月1日内閣告示第2号、昭和56年10月1日内閣告示第3号により一部改正）、「現代仮名遣い」（昭和61年7月1日内閣告示第1号）によるものとする。詳細は、文化庁国語施策情報システムホームページ <http://www.bunka.go.jp/kokugo/> を参照のこと。

4 医学用語は、日本医学会選定のものを用いること。

5 ラテン語の学名はイタリックで、日本語の動植物名は片仮名で書くこと。

6 略号は、国際的慣例に従い、単位及び単位記号は、国際単位系による。（例：nm, μ m, μ g, μ l, Hz 等）。

7 外国人名は、原綴のままとする。国名等は、原字又は片仮名で書く。

8 和文論文の文中におけるアルファベット、アラビア数字、記号は原則として半角文字で記載すること。

9 文献の本文中の引用は、その右肩に番号を付け記載する。

末尾の文献リストは、本文中における引用順に付番して列記する。本文内の引用箇所には、本文と同じ字体で[2]のように括弧で囲んで引用順番号を記す。同じ箇所に引用文献が2件以上ある場合は、[3-5]のように記載する。著者は略さず全員を掲げる。記載順序は雑誌の場合、著者名。論文表題。雑誌名、巻(号):始め-終りのページ、年。とする。雑誌名の略記は、“*Index Medicus*”または「医学中央雑誌」に記載のある場合、その略名表によるものとする。また著書単行本の場合は、著者名。書名。版次(編集者名)、発行地、発行所、引用ページ、発行年。とする。

記載例

- 1) Goldstein A, Aronow L, Kalman SM. Principles of Drug Action. New York, Harper & Row, 343 - 428, 1968.
- 2) Gross D. Pain and the autonomic nervous system. Advances in Neurology, vol.4 (Bonica JJ ed.), Pain. New York, Raven Press, 93 - 103, 1974.
- 3) 梶田欽一郎. 結合組織. 東京, 金原出版, 9-17, 1984.
- 4) King SJ, Reilly K, Dawes J, Miller HRP. The presence in blood of both glycosaminoglycan and mucosal mast cell protease following systemic anaphylaxis in the rat. Int Arch Allergy Appl Immunol, 76:286 - 288, 1985.
- 5) 松井成一. 再生時の肥胖細胞の組織化学的研究. 京府医大誌, 85:483-492, 1976.

10 表題に続いて英文抄録 (Abstract) を記載すること. その長さは300語以内とする.

また文献リストに続いて、和文抄録 (抄録) を記載すること. その長さは600字以内とする.

11 英文抄録の後に、本文内容を特徴付ける5つ以内の英文キーワードを列記する. 同様に和文抄録の後に、5つ以内の和文キーワード (該当する和文用語がない場合は、英文でもよい) を列記する.

(採択の審議過程)

第3 原稿受付は随時行い、それぞれ査読を経た後、編集委員会において受理決定 (掲載決定) が行われる.

(掲載形態)

第4 掲載形態については、本学ホームページ

<http://www.shiga-med.ac.jp/education/ejournal/ejournal.html> を参照のこと.